



憲法9条で平和な未来を

2026憲法大集会—有明防災公園に平和を願う5万人の参加者

憲法記念日の5月3日、有明防災公園で開催された「2026憲法大集会」に参加しました。

初夏の日差しの下、カラフルな布に「憲法9条を守ろう」と刺繍した旗を掲げる人、手作りのプラカードに自分の言葉を綴る若者、それぞれの言葉や方法で会場を埋め尽くす5万人の参加者。いま改憲の動きが加速し、憲法9条をないがしろにするような武器輸出の解禁も進められています。

他国の紛争に手を貸すのではなく、対話で信頼を築くことこそが日本の進むべき道のはずです。誰かに強制されるのではなく、一人ひとりが自由なカタチで「改憲反対」を表現している姿に、平和への強い意志を感じました。

憲法9条は、国に二度と戦争をさせないための大切な約束です。この多様で温かな声を消さないために、そして大切な平和のバトンを次の世代へ無傷で手渡すために、私も自分なりの言葉で伝え続けていきたい。

有明の空に響いたみんなの願いが、平和な未来をつくる確かな力になると信じています。



イラン戦争の影響から 都民の暮らし守れ

日本共産党都議団は4月15日、小池知事に対し、中東情勢の緊迫化を受け、政府による外交交渉の開始を求める緊急要望を行いました。また、資材の不足や高騰に苦しむ中小業者などの実態を示し、生活と営業を守る対策を提案しました。

同27日には日本共産党の14名を含む都議有志35名が、イランでの恒久的な戦争終結を求める共同アピールを発表。国際法の遵守を基軸に、軍事行動の即時停止と対話による解決を国際社会に対して強く働きかけるよう求めました。



緊急要望を提出する日本共産党都議団



美術館で絵画を鑑賞

最近、芸術に触れる機会が続きました。開館100周年を迎えた東京都美術館では久しぶりに絵画を鑑賞し、作品の色彩や筆遣いから伝わる作家の想いに心を動かされました。静かな空間の中で作品と向き合う時間は、慌ただしい日常を忘れさせ、心を穏やかに整えてくれる

平和があってこそその芸術

ようでした。また、オペラを鑑賞する機会にも恵まれました。たとえ言葉が分からなくても、圧倒的な歌声と迫真の身振りから物語の悲喜もごもごが心に響くのは、人間の声を持つ根源的な力のなせる技だと改めて実感しました。安心して文化や芸術に浸れるひとときは、平和な日常があつてこそ。心の豊かさを育んでくれる芸術の時間と、それを支える平和の尊さを、これからも大切にしていきたいと思

せいの恵子の
自転車に乗って

